

消費者志向経営優良事例表彰 内閣府特命担当大臣表彰企業であるライオン  
(株)の内容 (2020年度) を CCFS の視点でみる

2021年12月19日

内閣府特命担当大臣表彰企業：ライオン(株)

<選考委員会において評価された主な取組>

長期にわたり、主力事業の「口腔衛生」を通して、乳幼児から高齢者まで幅広く、「健康習慣づくり」を働きかけ、事業成長とも連動している。また、IoT(※)の技術を利用し、歯ブラシにアタッチメントを付け、正しい歯磨きを子供の生活に根付かせる取組も評価。

(※) Internet of Things の略。モノに通信機能を搭載して、インターネットに連携させる技術

消費者庁のHPに掲載された3月15日講演資料 ([消費者志向経営優良事例表彰 ライオン株式会社 \(caa.go.jp\)](#))をもとに、CCFSの以下の評価基準により検証した。

**【評価基準】**

1. 消費者志向を消費者の声を聞き、消費者の不満・不利益の解決や商品等の改善を行うことにとどまらず、経営の仕組みの中核に位置づけ、継続・実践しているもの
2. 持続可能性に関わる社会課題に取り組み、持続可能な社会における消費者志向経営を追求しているもの
3. 消費者志向自主宣言後、その取組みが著しく進展したことがフォロー報告で確認できるもの

評価基準2に該当すると考える。

**取組み(1)**

**地球環境課題への取組み**

- ① 使用済み歯ブラシリサイクル
- ② フィルム容器の水平リサイクル(花王と協働)

**評価出来ること**

- ◇地球課題への解決を自社の成長戦略と位置づけ、自社の商品の資源循環に取り組んでいる
- ◇多くの企業、自治体と協働して取り組んでいる

**期待すること**

- ・目標や取組み成果を明らかにするといいのではないか

**取組み(2)**

### 健康な生活習慣づくりの課題への取組み

- ① 長年、全ライフステージへの啓発活動を行っている  
正しい歯磨き習慣を身につけて、消費者の QOL (生活の質) の向上に貢献している
- ② 子どもが進んで歯みがきを続けたいくなる、成長が見えるような IoT を活用した仕組みの提案

### 評価できること

- ◇「健康な生活習慣づくり」という社会の課題解決を自社の成長戦略と位置づけで取り組んでいること
- ◇正しい歯磨き習慣を身につけることで健康な口内環境づくりに貢献している。
- ◇消費者、歯科医院、行政、教育機関、流通、業界等とともに取り組んでいる
- ◇インクルーシブオーラルケアの考え方で生活環境、身体、経済、教育・情報などの様々な状況によりお口のケアが十分にできない人たちにも着目した取り組みをしている

### 期待すること

- ・インクルーシブオーラルケアの考え方は SDGs の「誰ひとり取り残さない」という理念にもつながるものであり、どのような状態にある人々が問題になっているか、それらに具体的にどう貢献しているかを見せていくと消費者の共感が得られる取組みになるのではないか
- ・成人にも啓発をされているとのことだが、現在の取組みではまだ身近な取組みではないように思われるので、現在の企業の健康経営などの取組みへの提案も考えられるのではないか